

## 目指す児童像

本校の考えるアクティブラーニングの各視点が実現した具体の子どもの姿

### 主体的な学び

- ・マニュアルだけにとらわれず、自分の言葉で授業の司会・進行を行っている。
- ・自ら学習課題を立てることができ、学習課題が自分のものになっている。
- ・学習の手順や学び方を考えて学習計画を立て、見通しをもった学習ができている。
- ・パーソナルワークができている。
- ・話し合いの柱を明確にしてグループ協議ができている。
- ・自ら立てた課題に対して、本を読んで調べたり、自らの考えをまとめたりするなど、自分の課題を自分の力で追究していくことができている。
- ・最終的なゴールが明確で、それに向けて、どのように学習していくかを自分たちで考え、進めることができている。
- ・ねらいに沿った振り返りができている。
- ・学習後、読書の幅が広がったり、関連する事柄に興味をもったりしている。
- ・習得したことを自分の生活や他教科に活かそうとしている。

### 対話的な学び

- ・話し合いの中で、自分の役割への自覚をもち、適切に役割を果たしている。
- ・マニュアルだけにとらわれず、自分の思いや考えを伝えている。
- ・相手の話をよく聞き、それに対して相槌を打ったり質問したりするなどの反応をしている。
- ・グループワークにおいて、語彙力を活かしたり、高め合ったりしている。
- ・対話を通して他者から学び、自分を表現することで理解を深めている。
- ・友だちと意見交換することを通して、課題を解決することができている。
- ・友達の意見や考えのよさに気付いたり、適切にアドバイスしたりしている。

### 深い学び

- ・モデルを参考に、自分なりの工夫を見付け、さらによいものを作ろうとしている。
- ・PWCシートを活用し、語彙力を高めたり思考の仕方や理解の深め方を学んだりしている。
- ・学習の振り返りにより、新たな課題を見出している。さらにその課題を解決しようとしている。
- ・課題解決後に生まれた疑問点等について、さらに追究し、深めている。
- ・他の意見や考えに触れたり話し合ったりすることなどにより、新たな気付きがあり、自分の考えがさらに深まったり変容したりしている。
- ・学習した内容のよさに気付き、習得した技能や知識を他教科・他領域でも活用している。